

平成 27 年度人材育成事業報告

今期人材育成事業として、組合員、賛助会員を対象とした勉強会を3月14日、3月24日の2日間にわたり、TEC 総務委員会が主体となって開催されました。

3月14日（月）「作業者心得勉強会」

経済が高度成長を成し遂げる1955年（昭和30年）～1973年（昭和48年）において、第二次産業には品質の向上が要求され、TQCが提唱されていく、結果、各企業がデミング賞到達を目標とし、奮起することとなるわけである。そしてISOの規格要求が海を渡り、徐々に浸透していくこととなる。

昭和のその時代、人々は何を望んでいたのか？ QCサークルなる日本オリジナルにおいて何が変わったか？

別の側面から見れば、あまり良い時代ではなかったわけで、低水準、犯罪多発社会に生きる人々が全てにおいて改善要望を唱えた時代といった捉え方もできるのではないだろうか？

その要望とは充実感や、満足感であり、それはまさにCSで言うところのSatisfactionであったのではないだろうか？

当勉強会は、昭和の高度成長期より現代にいたるまでの変遷において、我々に課せられているもとしての顧客満足をもとに作業者としての心得を講師と参加者がともに考えていく勉強会である。



開催挨拶を行う理事長です。

司会進行も総務委員会スタッフが
行います。



3月24日（木）「基本作業手順表勉強会」

我々が生業とするガラス外装の清掃作業標準を当日配布するテキスト「基本作業手順表」をもとに詳しく解説する。

当内容は1、タオルの使用法作業標準に始まり2、窓ガラスの清掃作業標準、基本作業として

- ① 作業開始前ミーティング・作業指示書・作業手順表
 - ② 室内清掃 基本作業
 - ③ 脚立 基本作業
 - ④ 伸縮ポール 基本作業
 - ⑤ はしご 基本作業
 - ⑥ 乗り出し 基本作業
 - ⑦ ブランコ 基本作業
 - ⑧ 地上監視員 基本作業
 - ⑨ ローリングタワー 基本作業
 - ⑩ 高所作業車（自走式）の取扱い
 - ⑪ タオルの落下防止阻止措置
- と続く、



講師陣は TEC 理事が行います。

今期も大盛況のうちに終了となりました。

当人材育成事業は、毎年開催され、講師陣、運営、受講生が三つ巴となり、ディスカッションを繰り返していきます。

つまり、参加者全員が意見を出し合い、それを反映させて成長して行くのです。

よって、毎年新しい内容の講習会として生まれ変わり、配布されるテキストも刷新され、よりクオリティの高い内容の事業を目指します。

来期もどうぞ期待です！